

2026 年度事業推進方針

栗原市バスケットボール協会

＜事業推進にあたって＞

当協会は、バスケットボール愛好者のための「バスケットをする・みる・ささえる」非営利団体である。見返りを求めない事務局及びスタッフの尽力と、こよなくバスケットを愛する関係者の協力によって、栗原市のバスケットボールの発展に努めることを目的とする。

(1) 当協会の現状と課題

協会事業の推進は、ミニから一般まで幅広い層の賛同が得られ、主催大会の事業をはじめ各種大会助成事業等を協力体制のもとに取り組んできました。これまでの取り組みによりチーム登録制を前提とした会費徴収での運営、本会の趣旨や事業推進の狙いがようやく浸透してきました。しかしながら、少子化と比例し U15 以下の競技人口の減少傾向は歯止めが利かない状況になっています。今後の協会運営の在り方を改めて検討する必要があります。

(2) チーム登録制の確立

協会運営に当たっては、例年同様、市内全チームに協賛をいただき、**会費徴収による登録制を前提**とした大会参加費の軽減策を講じます。これまでの支援・助成事業の在り方についても同様に、登録制に見合った事業の方針や内容に随時見直していく予定です。

(3) 助成事業の支援（※2019 年度からの継続事業）

本助成は、主催大会（主管団体を置く場合を含む）および共催大会を対象とします。

【大会開催前の提出書類（必須）】

- ① 助成金申請書（第 1 号様式）※助成額には上限を設けます
- ② 大会要項（協会名を明記すること）
- ③ プログラム

※市外参加チームがある場合は、パンフレット等に所在地を明記すること。

【大会終了後の提出書類（必須）】※協会が 5 年保存します

- ④ 大会結果報告書
- ⑤ 決算書
- ⑥ 領収書の写し

※ 提出書類に不備がある場合、助成金の減額または不交付となる場合があります。

※ 事前申請制とし以下の書類提出を義務付けます。

※ 大会終了後は速やかに完了報告書を提出すること。

(4) 組織体制の整備充実

U12、U15、高校、大学、一般の部会を設け、各部会1名を理事として選出し、専門部会に所属して大会の企画・運営等連携を図ることとしていたが、形骸化してしまった経緯もあることから再構築を図ります。

(5) 主催事業の検討について

① 栗原リーグの開催の検討

協会登録チームが参加できる交流大会の企画（5人制、3 x 3）

対象：U12、U15、高校、一般

② 中学校1年生大会の開催

中体連と協議予定。2026年度開催は難しい。

③ 栗原選手権大会の開催

➤ 参加資格について

✧ 基本的に協会登録チームによる選手権大会とします。

✧ 登録チーム以外の出場も可とはするが、市内在住、市内出身、市内勤務のいずれかに該当する者で編成されたチームとします。

➤ 中体連の予選会について

✧ 中体連と協議予定。これまで行ってきた中体連の予選会は実施しない予定です。

➤ 参加費について

✧ これまでと同様別途徴収する予定です。

➤ 大会運営の在り方について

参加チームの協力が不可欠です。全チームに協力いただいて運営します。非協力的な団体に対しては、次年度以降の参加可否を検討し、「理事会」で決定する。

(6) その他

① 3 on 3改め、3 x 3体験会を通じ、少人数チームの参加機会の確保に努めます。

② 指導者、審判の育成については、最重要課題として取り組みます。

③ 2019年度から事業計画方針変更に伴い、よりガバナンスを重視した協会運営を進めてまいります。不便をきたす事象もあるかと思いますが、ご理解の上ご協力願います。